

昭和二十二年六月十二日 (第三種郵便物認可)
令和二年三月十三日発行 (毎月一回十三日発行)

定価 五〇〇円

第942号

龍

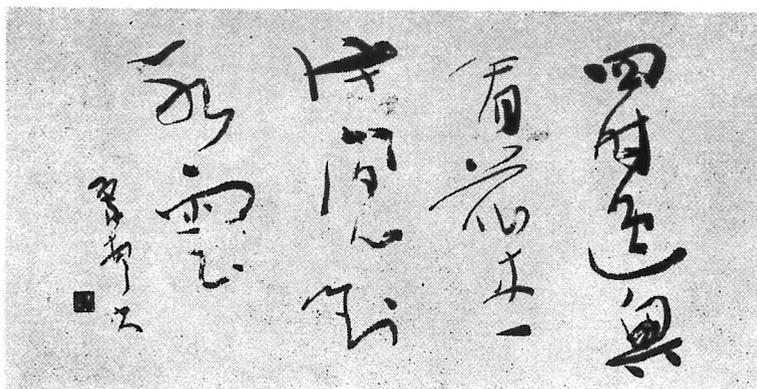
跳

第七十六卷

4
月号

高知
龍跳書道会

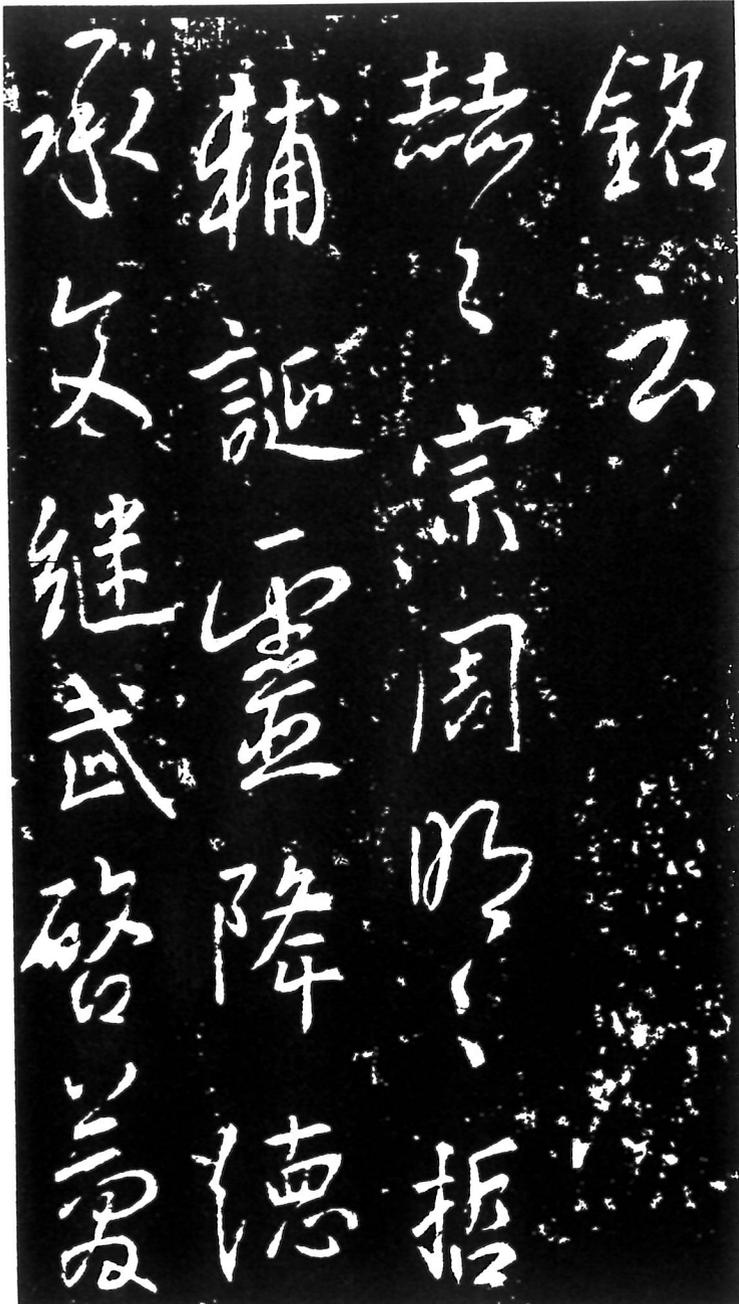
川崎翠村書



四時逸興看花木
一片閒心對水雲

晋祠銘
しんしめい

唐 太宗



銘云／赫々宗周明々哲／輔誕靈降德／承文繼武啓慶

晋しん祠しめい銘

唐 太宗

唐、太宗（開皇十八年）は初代皇帝祖、李淵の第二子として生れるのちに父を助けて内政、外政に活躍する。唐、王朝の基盤を築いた太宗は書の憧憬どうけいにも深く、特に王羲之の書を愛好し、自らも行、草体を得意とした。今回は晋祠銘について、学習しますが、この碑は太宗自ら文を撰書し、書体は行書である。

岡崎 緑水 書

林外雪消山色靜
窗前春淺竹聲寒

林外雪消山色靜
窗前春淺竹聲寒

野中 恵花 書

梅花落處疑殘雪
柳葉開時任好風

梅花落處疑殘雪
柳葉開時任好風

梅
川
桂
龍
書

別業居
幽處

別業べつぎょう 幽處ゆうじょに居るお

3月20日締切

梅川桂龍書

到來生
隱心

到來隱心を生ず

福原 暁雲 書

新筍 三分 縁

しんしゅんりよくさんぶん
新筍縁三分

出 間 桂 堂 臨

晉 祠 銘

唐 太 宗

承 文 繼 武

繼 承
武 文

江西澄翠書

青門日煖塵花動
紫陌春生隄草來

澄翠書

山下枝雪臨

洞庭帆玉破鱸魚霜
金破柑好作新詩

澄翠書

西山極山臨

友一筆お月外新筆
勿招口糸徒為有

卷六
弘田賀峰

弘田賀峰臨

豁以明哲佐世後燕
中山尹太常卿

賀峰臨

可謂常先之氣也
少人之可之時

岡本空仁

岡本空仁

王師破賊關東時年
荒穀貴郡縣殘毀

岡林邦心

岡林邦心

人鮫君造位百石吏
書功垂天窳於是

武内美仁

武内美仁

敬倫逸諸人去晦祥
禪情以醜割

大八木洋女

大八木洋女

十日拂岩將象入
留意相傳是仁

伊吹悠道

伊吹悠道

香尚約力想身聖心
讀你成爲風真

中内桂香

中内桂香

以之不及爲至先書
以之不及爲至先書

和田風和

和田風和

之不及逸少筆法
有年志學之年

岡林翠

岡林翠

來來梅花香色散
鸞啼

宮本キン子

宮本キン子

条幅当選作品 福原 曉雲 選評

★天位

岡本空仁君 潤渥を利かし、動き大胆。

中平幸仙君 此の流れに、墨継ぎを思い切つて付して下さい。

岡林邦心君 鐘絲蔦季直表臨、やや多墨だが堅実に書している。
楷書は基本です。精進祈る。

武内美仁君 筆力のある線で切味良し。この調子で。

大八木洋女君 素朴なおとなしい静かな書、墨量が欲しいけど！

★地位

伊吹悠道君 此の臨、良い線質で抑揚有り。

中内桂香君 一気呵成に仕上げているが、これから潤いの線質
も欲しいところ。

和田風和君 画仙紙が厚いせいか線浅し、もう少しゆっくりに
込ませて。

★人位

岡林 翠君 動き堅い、柔軟に運筆して用筆の勉強をして下さ
い。

宮本キン子君 流れ良く書してはいるが、筆を沈めたり吊りの
上下運動を要したい。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

3月の審査は22日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

水山

明紫

中学二・三年課題
北代碧山書

4月20日締切

中学一年課題
廣末幽念書

春江
色山

4月20日縮切

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

行学
事校

小学六年課題
松崎緑花書

4月20日締切

小学五年課題

山下枝雪書

小春

川の

4月20日縮切

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

川山

と

小学四年課題

西山極山書

らちか

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。



小学二年課題
岡林邦心書

4月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書



いか

4月20日縮切

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

| | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|
| 学校名 | た | ヤ | ん | う | 夏 | |
| | く | ツ | も | な | が | 今 |
| | し | の | お | 暑 | い | 日 |
| 四 | 上 | そ | 客 | い | き | は |
| 年 | げ | で | も | 日 | な | 、 |
| 級 | て | を | 、 | で | り | 六 |
| 段 | い | 、 | 白 | す | 始 | 月 |
| 氏 | ま | う | い | 。 | ま | の |
| 名 | し | で | ワ | 松 | っ | は |
| | た | ま | イ | 井 | た | じ |
| | 。 | で | シ | さ | よ | め |
| | | | | | | |

小学四年課題
市原 處 艸 書

4月20日締切

| | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|
| 学校名 | り | ん | 目 | 鳴 | て | す |
| | を | と | を | ら | 、 | い |
| | 見 | せ | ま | し | 金 | せ |
| 三 | ま | の | ま | ま | 色 | ん |
| 年 | し | び | ま | す | の | は |
| 級段 | た | を | る | 。 | ラ | は |
| 氏名 | 。 | し | に | あ | ッ | 、 |
| | | て | し | り | パ | 息 |
| | | 、 | て | た | を | を |
| | | ま | 、 | ち | ふ | す |
| | | わ | う | は | き | っ |

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

| | | | | | |
|------|---|---|---|---|---|
| がっこう | つ | う | も | て | |
| | て | も | | | 春 |
| 二 | | | 雪 | い | 風 |
| ねん | い | み | も | る | が |
| だ | る | ん | | な | |
| きゆう | な | な | ふ | | ね |
| なまえ | | | き | 竹 | ぼ |
| | | こ | の | や | う |
| | | ま | と | ぶ | し |

小学二年課題
小川理香書

| | | | | |
|---------------|---|---|---|---|
| がっこう | | | | |
| | | | | |
| ねん | さ | み | な | お |
| | あ | ん | に | や |
| だ きゆう ん | | な | か | |
| なまえ | | な | | |
| | い | と | | |
| | こ | も | | |
| | う | だ | | |
| | | ち | | |

進級される児童生徒の皆さんへ

4月20日しめきりの競書作品は新しい学年の課題で出品してください。

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| がっこう | | | | |
| | あ | い | い | い |
| ほねん | い | ろ | ろ | し |
| きゆうだん | う | | | こ |
| なまえ | え | | | ろ |
| | お | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

ようち・ほいく課題
中平美峰書

昇段試験審査日の変更について

新型コロナウイルスの感染が広がっていますので、予定していましたが昇段試験審査日を急ぎよ延期しました。

審査の日程は決まり次第、連絡します。

なお、受験作品の締切は三月五日(木)で変わりなく受付を終えました。ご了承ください。

長年にわたり、本会にご尽力頂きました田中幽峰氏が二月三日逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入手の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千元

★準師範以下一般 二千元

★学 生 一千元

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先)ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七六一一〇三三

土佐市高岡町丙五二一六

龍跳書道会 北代碧山

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一三〇一

高岡郡越知町越知甲二一一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

〒七八一〇二六一

高知市御豊瀬一七五

龍跳書道会 山下枝雪

何日復
同遊

(一段目) 梅川桂龍 選評
 惠花君 運腕大で伸びやかな佳作。
 桂紅君 豪快な筆致で一紙をのむ。
 桂園君 溫和整正で意が届いている。
 花梢君 屈託のない線質に魅力がある。

千施君 じめめな書で安定している。
 (二段目) 岡崎緑水 選評
 玉水君 温かみのある丸い線で充実した佳作。

忠臣君 厳しい線で作品が明るい。
 多嘉君 形、筆使い共によいが、少し肉厚な線がほしい。

真理君 力みなく自然な作。
 道代君 余白が生きて明るい。

(三段目) 野島桂山 選評
 朱鳳君 真面目な書、明るく整正。

順子君 字々安定している。「日」の字気になりました。

キン子君 力強く充実な作。
 竹山君 字々変化あり、面白い。

美知君 今後が楽しみな作品。
 (四段目) 塚地桂峰 選評

知勢子君 力強くまとまっています。
 彩華君 落ち着いた運筆で流れ良し。

幸三君 流れ良く力強い。
 律子君 のび〜と書けていてまとまっている。

青苑君 線に勢いがあって良し。

牧用軍 是以窺 春物自

窠精 美智 天鑑 茶陽 清美 松子

肉曰員 牧用軍 青松勁 東域

同早 松子 窠精 美智 挺姿 美鳳 而流 美鳳

胸忍令 喜物自 牧用軍 仰德

張掖 知勢 清美 美智 窠精 松子 而知 千枝

秋野 牧用軍 牧用軍 仰德

香繼 美智 窠精 美智 窠精 河子 而知 松子

馳神 春物自 一畫之 騰漢

暄煥 美智 清美 美智 冒交 初卷 遊西 美智

(一段目) 出間桂堂 選評
賀峰君のびく〜と大胆に書けてい

澄翠君の線は細いが凜としてきびし

知抄君の運筆に余裕を感じる。墨色

美しい。空仁君の大胆でスケール大。単体の

研究を。花梢君の躍動感溢れる。体がよく動

いている。(二段目) 大仙仙雲 選評

恵歩君の細線の深い線が出ているが

全体的には少し荒い。美賀君の線は走っているが深い線が

ほしい。貴志子君の線の動きはあるが荒れが

見える。美智子君のゆつたりとした落ち着き

のある線がほしい。風和君の線の動きはあるが全体とし

てゆつたりとした落ち着きがほしい。(三・四段目) 前田秀華 選評

紫陽君の筆の弾力を生かした線で佳

朱鳳君の無理のない運筆。絢子君の思い切りよく、伸びやか。

洋堂君の墨の粘りが気になるが品格

あり。初恵君の大きな動きと筆勢が佳。祝子君の小さな粒ながら味わいのある線

質。(四段目) 廣末幽念 選評

知勢子君の力強い線で書けている。千枝君の伸びやかで明い作。啓子君の素直によくまとめている。美代君の鋭い線ですっかり書けてい

印象的
な話
卒業の歌業
卒業の歌業
卒業の歌業
合話いし
合話いし

中二 松本 依
南条 藤光 初
二木 啓三 初
多々 郷 五 年 松田 夕 花

印象的
な話
卒業の歌業
卒業の歌業
卒業の歌業
合話いし
合話いし

三年 深田 英
高 六 年
本 野 隆 初
國 臺 五 年 岡 上 裕 良

印象的
な話
卒業の歌業
卒業の歌業
卒業の歌業
合話いし
合話いし

二年 中田 花 穂
上 野 六 年 島 田 八 郎
高 六 年
小 木 五 年 小 木 五 郎

給食の卒業の歌業
給食の卒業の歌業
給食の卒業の歌業
合話いし
合話いし

北 陸 中 一 年 秋 萩 初 羽
高 六 年 島 田 八 郎
高 六 年
高 六 年 大 平 彰 秋

給食の卒業の歌業
給食の卒業の歌業
給食の卒業の歌業
合話いし
合話いし

北 陸 一 年 島 村 雅 奈
高 六 年 島 田 八 郎
高 六 年
高 六 年 大 平 彰 秋

給食の卒業の歌業
給食の卒業の歌業
給食の卒業の歌業
合話いし
合話いし

学 五 一 年 飯 田 尚 明
高 六 年 島 田 八 郎
高 六 年
高 六 年 大 平 彰 秋

岡林邦心 選評

(一段目) 中学部
 絵 君 || 流れよくまとめて良い。
 日葵君 || 落ちつきのある作品です。
 花穂君 || のびのびと書いて明るい作。
 那羽君 || 良くまとめている。
 莉奈君 || のびのびと書いて良い。
 悠月君 || 良くまとめて安定した作。
 (二・三段目) 小学六年 佐々木港花 選評
 美羽君 || 形良く書けましたが力強さがほしいです。
 亜杏君 || もう少し元気に。
 佳花君 || 形よく書けました。
 瑠菜君 || 元気に書けました。
 楽人君 || おちついて書けました。
 來美君 || 力強く書けました。
 芽途君 || 落ち着いて形よく書けました。
 亜依君 || まじめにとりくんでいます。
 青海君 || すなおにまじめに書けました。
 (三・四段目) 小学五年 武内美仁 選評
 彩詠君 || おちついて良く書けました。
 虎之介君 || のびのびと良くまとめています。
 菜那羽君 || ていねいに書いています。
 夕苺君 || まじめにバランス良く仕上がっています。
 桜良君 || 堂々と書けましたね。
 颯 君 || 良くまとまって線が美しく仕上がっています。
 真尋君 || 一画一画力強く書けました。
 柑奈君 || 形良く書けてます。
 (四段目) 小学四年 大八木洋女 選評
 陸 君 || 良く書けています。これからが楽しみです。

小春川の
小春川の
海あら
つた
つた
ひる

昭和四年小松のひ

同里二年

同上直良里

同上直良里

小春川の
小春川の
海あら
つた
つた
ひる

昭和四年白石松

同里二年

川上妙登

二年小原ひなこ

小春川の
海あら
つた
つた
ひる

昭和二年

二年正木 希実

同村野作

二年 つもとらた

小春川の
海あら
つた
つた
ひる

昭和四年 吉村梅吉

すさろ おまわり

同小 幸

小一 みせじらいつ

小春川の
海あら
つた
つた
ひる

昭和二年

長山英美利

同小 三年

すな一まい子やもり、は

小春川の
海あら
つた
つた
ひる

昭和二年

上村彰月

同里二年

飯田むかり

昭和二年 ぼんぼり

(一・二段目)
さとみ君 力強い線がうれしいです。

葵 君 あたたかさが感じられます。

ひなほ君 真面目に書いています。

柚季君 のびやかな作です。「はらい」を練習してみ
て下さいね。

グラント花君 ねいに書いています。

青星君 明るく書けています。

はな君 良くまとまっています。

こな君 細い線ながら力強いですね。

(二・三段目) 小学三年 岡本志峰 選評

希実君 力強い線でかけています。

あいり君 も少し墨を付けて力があるといいね。

英美利君 気持ちよくかけています。

彩月君 ねいに落ちついた字です。

有佳子君 力強い線でかけています。

紗奈君 思いきり墨をつけていて、ねいなよい字。

朋乃佳君 ねいにかけています。

大翔君 のびよくかけています。

和奏君 元気にかけています。 西山極山 選評

(三・四段目) 小学二年

ひかり君 ねいに書けました。

真理君 のびやかにどつしり書けました。

ひなこ君 ゆつたり書いてねいに書けました。

そうた君 この調子でがんばって下さい。 大原桂園 選評

(四段目) 小学一年・ようちん・ほいく

らいと君 力ぶよく、どうどうとしています。

りいは君 のびのび、げんきにかけました。

いちの君 おちついて書いてねいにかけています。

浦ノ内 大友銀次郎
泉野 奥村 來美

平安時代になると、万葉仮名をくずして書くところから平仮名が生まれました。いっぽう、片仮名の多くは、万葉仮名の形の一部を取って書くところから生まれました。
浦ノ内 大友銀次郎

平安時代になると、万葉仮名をくずして書くところから平仮名が生まれました。いっぽう、片仮名の多くは、万葉仮名の形の一部を取って書くところから生まれました。
泉野 奥村 來美

平安時代になると、万葉仮名をくずして書くところから平仮名が生まれました。いっぽう、片仮名の多くは、万葉仮名の形の一部を取って書くところから生まれました。
浦ノ内 奥村 來美

平安時代になると、万葉仮名をくずして書くところから平仮名が生まれました。いっぽう、片仮名の多くは、万葉仮名の形の一部を取って書くところから生まれました。
久重 武林 青海

舟入 西野 文那
久重 武林 青海

朝倉 松本 美桜
浦ノ内 宮本 莉瑚

平安時代になると、万葉仮名をくずして書くところから平仮名が生まれました。いっぽう、片仮名の多くは、万葉仮名の形の一部を取って書くところから生まれました。
朝倉 松本 美桜

「論語」は、中国の古代の思想家である孔子と、その弟子たちの問答を記録した書物です。日本にも古くから伝えられ、人々の生き方や考え方にえいさうをあてました。
浦ノ内 宮本 莉瑚

「論語」は、中国の古代の思想家である孔子と、その弟子たちの問答を記録した書物です。日本にも古くから伝えられ、人々の生き方や考え方にえいさうをあてました。
浦ノ内 宮本 莉瑚

「論語」は、中国の古代の思想家である孔子と、その弟子たちの問答を記録した書物です。日本にも古くから伝えられ、人々の生き方や考え方にえいさうをあてました。
久重 小笠原 颯

浦ノ内 矢野結理奈
久重 小笠原 颯

長岡 永尾 真尋
浦ノ内 上田梨里香

「論語」は、中国の古代の思想家である孔子と、その弟子たちの問答を記録した書物です。日本にも古くから伝えられ、人々の生き方や考え方にえいさうをあてました。
長岡 永尾 真尋

「論語」は、中国の古代の思想家である孔子と、その弟子たちの問答を記録した書物です。日本にも古くから伝えられ、人々の生き方や考え方にえいさうをあてました。
浦ノ内 上田梨里香

一夜明けると、台風は通りすぎた。青く晴れ上がった空の下で、あんなにゆれていた森は、今は静かに太陽の光を受けてひかひかがやいている。
浦ノ内 上田梨里香

一夜明けると、台風は通りすぎた。青く晴れ上がった空の下で、あんなにゆれていた森は、今は静かに太陽の光を受けてひかひかがやいている。
浦ノ内 上田梨里香

新莊 鍋島祐里花
秦 玉城 陸

清新 濱田ななみ
夜須 白石 葵

一夜明けると、台風は通りすぎた。青く晴れ上がった空の下で、あんなにゆれていた森は、今は静かに太陽の光を受けてひかひかがやいている。
清新 濱田ななみ

一夜明けると、台風は通りすぎた。青く晴れ上がった空の下で、あんなにゆれていた森は、今は静かに太陽の光を受けてひかひかがやいている。
夜須 白石 葵

一夜明けると、台風は通りすぎた。青く晴れ上がった空の下で、あんなにゆれていた森は、今は静かに太陽の光を受けてひかひかがやいている。
夜須 白石 葵

夏になると、庭や公園のすみなど、ありの行列を見かけることがあります。行列は、ありの巣から、えさのある所までつづいています。
浦ノ内 正木 希実

夜須 西村 柚季
浦ノ内 正木 希実

第892回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 福原 暁雲

(※印写真版)

★推薦

※江西澄雪
※山下枝雪
※西山極山
※弘田賀峰

★天位

※岡本空仁
※岡平幸仙
※岡林邦心
※武内美仁
※大八木洋女
大崎花梢

須藤玲華
中平美峰
水田紅子
岩河里華
大石千施

★地位

※伊吹悠道
※中内風香
※和田風和
森光望春

岩谷紅花
大野美賀
氏原美泉
横山桂華

岩崎竹山
津野惠泉
中城知抄
丸田宏子
門田惠子
田村和子
別役美佐
廣田香翠
今井真理
笠原多嘉

★人位

※岡林翠
※宮本キン子
吉永光翠

大崎紫園
山脇佳月
明石美桂
辻本里仙

規定

審査 梅川 桂龍

★師範

須南
野中恵花
大庭桂園
大原桂園
旭筆
越知
旭筆
東洋
高知

西森令泉
藤原朱鳳
池原芳春
田村昭生
坂本碧香
中城康華
武政幽雅
岡田史恵
岡田雄山
佐竹江月
長町白水
上田夏海
吉永美和
川淵瑞容
岩村祥
山本恵歩
岡澤さわ
高橋典子
西村由香
吉田深美
久保地初恵

須崎 江西澄翠
高知 須藤玲華
山田 武内美仁
仁淀川 隅田亘心
波介 岡林邦心
山田 原處艸
水原紅子
野島桂山
須崎 中平美峰
久礼 奧堂皓月
久礼 岡本志峰
佐川 大八木洋女
旭筆 石山極山
南国 西山極山
上分 深瀬緑堂
須崎 深瀬緑堂

★準師範

吾桑 大崎花梢
山田 大石千施
池川 片岡政徳
越知 池芳春
須南 奥崎躍翠
山田 門田恵子
久礼 山西春草
豊中 逸見翠雲
越知 岡田雄山
旭筆 別役美佐
山田 山中仁子
山田 西内紅風
旭筆 河村容舟
山田 岡本空仁
越知 横山桂華
山田 林山緑華
山田 萩野洗雨
久礼 田中恵風

★六段

須崎 岡村玉水
高知 矢野忠臣
久礼 梅石美桂
須崎 山本恵歩
旭筆 廣田秋桜
久礼 中沢里花
旭筆 大野美賀

★五段

笠原多嘉
今井真理
川瀨瑞子
野市 田村星子
旭筆 山川百合
旭筆 岡澤さわ

★四段

井口道代
辻本里仙
津野惠泉
武政幽雅
西村由香
楠目実子
高橋伸水
松浦明子
浜恵子
和田風和
伊吹悠道
北村哲郎

★三段

須南 藤原朱鳳
仁淀川 濱田順子
旭筆 大崎紫陽
須南 田村昭生
西村眞理

★二段

宮本キン子
岩崎竹山
岡本英
利谷喜代子
浜崎洋堂
高橋志風
久保地初恵
岡林翠

★初段

下元王泉
坂本瑞子
川瀨瑞子
田村星子
山川百合
岡澤さわ
大野見
高知 下元王泉
野市 坂本瑞子
旭筆 川瀨瑞子
旭筆 田村星子
旭筆 山川百合
旭筆 岡澤さわ

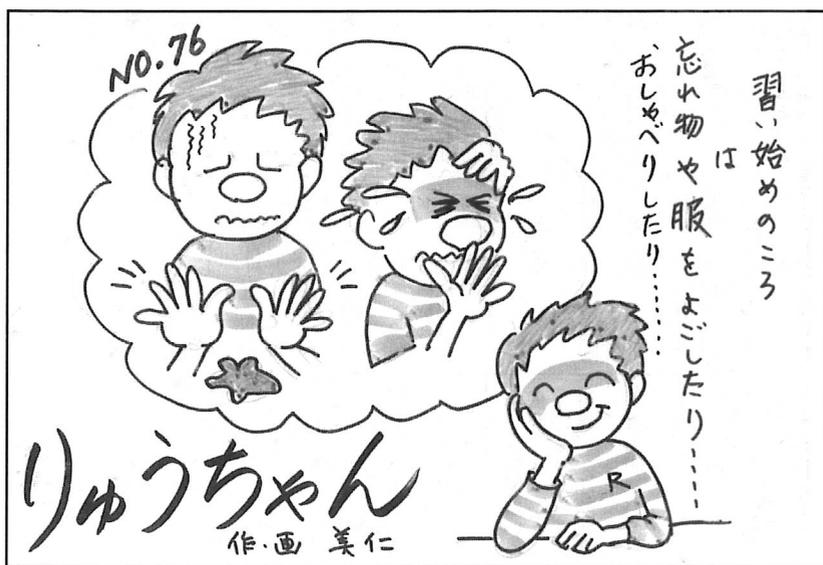
お知らせ (高新発表順)

第48回オールドパワー文化展

推薦 松下紫香
特賞

第14回香南市美術展覧会

無鑑査 福原 暁雲
褒状 梅川 桂龍
奨励賞 西山 極山



連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田巨心

龍跳書道会
龍跳書道会

01690-3-31925

電話(〇八八九)三五〇九七一

・月例作品の送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八)八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六―二九

廣末幽念

電話(〇八八九)三八一五二〇八番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話(〇八八九)四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(〇八八九)四七―〇七二二番

あとがき

二月三日、大先輩であり、龍跳書道会にとって大切な大切な先生である田中幽峰先生(本名孝満氏)が急逝された。

先生には龍跳でご指導いただいただけでなく、先生と私とは、同じく郵便局出身ということもあり、県下の郵便局退職者の会でも一緒にいたり、色々な面でお付き合いいただいていた。

お元気な頃は、月例審査の後は「葉牡丹」に立ち寄って帰るのが恒例であった。

先生の書で好きなのが楷書であった。今は、早なつかしく、残念な気持ちでしかない。ご家族・ご親族の方々におくやみを申し上げます、先生のご冥福をお祈り申し上げます。

二月二十四日

— 桂峰 —

月例競書課題

| 部 別 | 縮切日 | |
|--------|-----------------------|-----------------------|
| | 四月二十日 縮切 | 五月二十日 縮切 |
| 一般条幅 | 任 意 | 任 意 |
| 半紙規定 | 到 來 生 隱 心 | 南 山 當 戸 隔 |
| 半紙随意 | 任 意 | 任 意 |
| 中学三年 | 山 紫 水 明 | 海 流 黒 潮 |
| " 二年 | 江 山 春 色 | 田 園 都 市 |
| " 一年 | 学 校 行 事 | 春 の 小 川 |
| 小学六年 | 山 と 川 | 五 月 の 空 |
| " 五年 | ち か ら | 夕 ぐ れ |
| " 三年 | ふ じ | あ ゆ |
| " 二年 | い か み | |
| 保 育 | | ち |

会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は送料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

| | | |
|---|--------|------|
| Ⓐ | 1冊～3冊 | 80円 |
| Ⓑ | 4冊～8冊 | 150円 |
| Ⓒ | 9冊・10冊 | 210円 |

〈例〉 12冊 ③+Ⓐ=290円×月数

17冊 ③+Ⓑ=360円× "

30冊 ③×3=630円× "

◎会費と龍跳誌送料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

- ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
- ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会

(お問い合せ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 送料 ○円

と記入のこと。

| | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|------|
| 印刷所 | 発行所 | 発行人 | 編集室 |
| (有)笹岡印刷所 | 龍跳書道会 | 廣末幽念(本部) | 廣末幽念 |
| 須崎市東古市町二一六 | 電話(〇八七) 三八一五二〇八 | 安芸郡田野町一四五六―二九 | 北代碧山 |
| 電話(〇八九) 四二一〇二四四 | | 電話(〇八七) 三八一五二〇八 | 野島桂山 |
| | | | 前田秀華 |
| | | | 江西澄翠 |
| | | | 中平美峰 |

月例作品送り先
〒783-0081 南州市片山四九〇
西山極山宛
電話(〇八八) 86518857